

住宅用火災警報器等

【住宅用火災警報器（住宅用防災警報器）】

火災の発生を感知する機能と警報を発する機能が一体となった機器です。
警報もブザーや音声を発するもの、取付方式や電源方式により様々なタイプがあります。

取付方式

天井取り付けタイプの一例



壁掛けタイプの一例



※ 壁、天井兼用タイプもあります。

電源方式

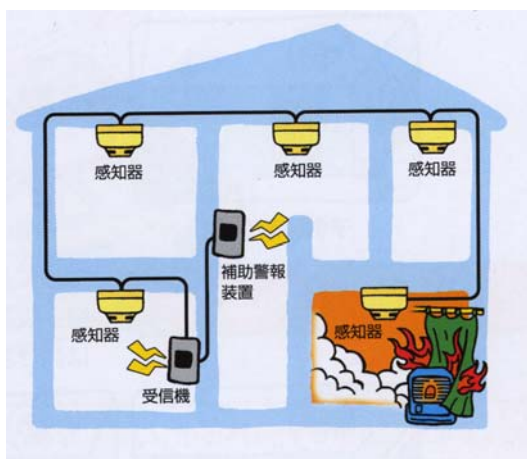
電池式 取り付けはネジ2本で簡単に取り付けできます。電池寿命がくれば定期的に電池を交換する必要があります。電池寿命は約1年～10年と製品により様々です。

A C電源式 電池交換が不要ですが、配線工事や取付位置付近にコンセントが必要です。

【住宅用自動火災報知設備（住宅用防災報知設備）】

火災の発生を感知する「感知器」と感知器からの信号を受けて警報を発する「受信機」を配線をつなぎ合わせた設備です。住宅用火災警報器とは異なり、感知器自体は警報音を発しません。場合によっては受信機から離れた場所に火災発生を知らせる補助警報装置を取り付ける必要があります。

設置に関しては、工務店やハウスメーカー等にご相談ください。



※ 消防法及び尼崎市火災予防条例では「住宅用火災警報器」を「住宅用防災警報器」と、「住宅用自動火災報知設備」を「住宅用防災報知設備」と呼称しています。